

千葉市立 稲浜小学校



SCHOOL DATA

〒261-0005 千葉市美浜区稲毛海岸2-3-2
TEL 043-246-4185 FAX 043-244-7489

■児童数/80人 ■教職員数/14人 ■周辺環境/住宅地(埋立地) (平成21年5月1日現在)



【小川の生物を観察するようす】



【一列になって田植えをするようす】

ビオトープの概要

- 場所/学校敷地内
- 面積/500㎡
- 設置者/学校
- 設置した年/1998年
- 直近の改修年/2008年
- 主な管理者/教職員・ビオトープ整備実行委員



児童・生徒等の変容

ビオトープ改修の様子を見てきた子ども達、その作業に関わった子ども達は、ビオトープの意味や価値を知ると共に大切に思う気持ちが高まった。5年生は、新しく作った広い水田で稲作りに挑戦し、その学習活動を友達、地域や保護者の方の前で工夫して発表することができた。また、他の学年もビオトープの環境や生物へ関心が高まっている。設置当時からの「稲毛海岸という埋め立て地に生き物の住むオアシスをつくりたい」という願いは、学校や学習という枠を越えて地域の方々にも伝わっており、今回の改修にも多くの方々が様々な形で作業に協力してくださった。その後も子ども達の活動や小さな変容を喜んでくださったり、水位や周辺の状態を気にかけてくださったりと、ビオトープを通じての関係が新しく生まれている。

地域住民・NPO・近隣学校等との連携

学区に住む千葉県環境学習アドバイザーの横田耕明氏を講師に迎え、3年生の総合的な学習の時間「ビオトープの環境と生物」をテーマとした学習がスタートした。小川の水草は、近隣校である稲毛第二小学校のビオトープに生息していたものを分けていただき、その特徴と栽培について指導を受けながら植えた。今後、植物環境が整った後は、動物においても継続して連携をとり充実を図りたいと考えている。

【ビオトープの構成】

雑木林から築山を中心とした森林と、今回改修した泉・小川・水田部分、そして学年花壇・畑部分・果樹・花樹が校舎を囲むかたちで構成されている。また、隣接する市の緑地や公園・遊歩道等を含め里山的な環境がある。

管理・活用する上での、教職員・児童生徒の感想

自分たちの手でビオトープの環境を考えながら植えた水草について、児童は興味関心を持ってその後の成長を観察し喜んでいて。また、アドバイザーとの連携の中で教師も近い将来のビオトープ像「メダカが泳ぎ、ホタルの飛ぶビオトープ」を共に描きながら活動することができたことを嬉しく思っている。昨年の改修によって安全で趣向を凝らしたビオトープができたが、今後の維持管理については、学校を核とした地域ぐるみの組織「ビオトープ管理委員会」が機能することが課題である。

【新たに見られるようになった動物】

シジュウカラ・ホオジロ・ジョウビタキ・キジバト・アメンボ・ギンヤンマ・ウスバカゲロウ・ジョロウグモ・ハサミムシ・ニジュウヤホシテントウ・トノサマバッタ・オオカマキリ・ニホンミツバチ・クロアゲハ・アオスジアゲハ

【新たに見られるようになった植物】

ガマ・ハンゲショウ・シャジクモ・サンカクイ・フトイ・セキショウ・コカナダモ・ウキクサ・アオウキクサ・ヤブツバキ・カキ・サルスベリ・ガクアジサイ・サザンカ・ナンテン・ネコヤナギ・ツユクサ・ミズヒキ・クズ・オヒシバ・スキイヌタデ・ヤマハギ